

地域資源



自然

四国遍路

沖の島・鵜来島 うくるしま



足摺宇和海国立公園の指定を受けた高知県唯一の有人離島です。島の宝1000景に選ばれた「集落の石段石垣」や黒潮が作った大自然の芸術「七ツ洞」、四国百名山に選ばれた「妹背山」など、島独特の文化や暮らし、自然が息づいています。また、周囲には透明度抜群の海が広がっており、磯釣りやマリンスポーツのパラダイスでもあります。

咸陽島公園 かんようとう



咸陽島は数少ない陸繋島の一つで、潮がよく引く時には歩いて渡ることが出来ます。春は桜の花見、夏は海水浴、冬はだるま夕日鑑賞を楽しむ憩いの場です。園内にはビーチバレーなどが楽しめる広い砂場や遊具が設置されている緑地スペースが整備されており、トイレや更衣室、コインシャワー、流し台を設置しています。

だるま夕日



宿毛湾の冬の風物詩。11月中旬から2月中旬にかけての期間中わずか20回程度しか観ることができません。しかも綺麗なだるまになるのはそのうちの10回程度しか観ることができないことから幸運の夕日と言われており、日本の夕陽百選にも選ばれています。すくもサニーサイドパークや咸陽島公園が鑑賞スポットとして人気です。

出井甌穴 いでいおうけつ



松田川上流、県境近くの出井溪谷に渦巻く急流が作り上げた天然の彫刻。幅40m、長さ200mの岩床に大小200あまりある甌穴群です。これほど数の多い所は日本中でも珍しく、「高知県天然記念物」に指定されています。

延光寺 えんこうじ

四国霊場三十九番札所



高知県（修行の道場）での最後の札所。神亀元年（724年）に行基が開基し、延暦14年（795年）に弘法大師が再興し第三十九番札所として定められました。境内には、弘法大師が湧き出させたという「眼洗い井戸」があります。また、この寺には延喜11年（911年）のものである銅鐘が残っています。この鐘は、赤亀が鐘を背負い寺山に這い上がって来たといわれていて、これにちなんで山号が赤亀山になったという伝承が残っています。高知県最古の銅鐘といわれ、国の重要文化財に指定されています。

野菜祭り（ヤーサイ）



平田町戸内の藤林寺で毎年8月16日に行われる伝統ある祭り。で、竹まわしや盆踊り、やぐら回しなどが行われます。ヤーサイは、かつて中村（現・四万十市）を治めた一条公が平田御殿においてになるとき、村人たちが直接野菜を献上することを恐れ多いとし、竹に野菜を結んで差し上げたことから始まったといわれています。昭和38年に宿毛市無形民俗文化財に指定されています。

市民祭宿毛まつり



毎年10月（スポーツの日の前日の土・日曜日）に行われる市民祭。メインは舞踊パレードと秋の夜空に打ち上がる花火大会です。その他に子どもみこし、各種スポーツ大会、歌謡祭などもあります。

祭り